

2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社 ディーエムエス
 コード番号 9782 URL <http://www.dmsjp.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 克彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 橋本 竜毅

TEL 03-3293-2961

四半期報告書提出予定日 2019年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,930	0.9	413	26.5	422	25.9	305	30.2
2019年3月期第1四半期	6,870	19.9	326	63.0	335	64.9	234	58.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 275百万円 (18.9%) 2019年3月期第1四半期 231百万円 (35.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	52.42	
2019年3月期第1四半期	40.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	16,330	11,645	71.3	1,999.86
2019年3月期	16,678	11,492	68.9	1,973.62

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 11,645百万円 2019年3月期 11,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		21.00	21.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,693	2.7	745	24.4	755	23.2	526	24.2	90.33
通期	27,395	2.3	1,547	13.2	1,567	12.8	1,088	14.1	186.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(2019年7月31日)公表しました「2020年3月期第2四半期および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	7,262,020 株	2019年3月期	7,262,020 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,438,974 株	2019年3月期	1,438,974 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	5,823,046 株	2019年3月期1Q	5,823,086 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想ご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不透明感が懸念されたものの、雇用・所得環境は改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移しました。

このようななか当社は、ダイレクトメール、物流、セールスプロモーション、イベント等の各事業により、「顧客企業と生活者のよい関係づくりをトータルサポート」するべく、提案型営業と生産性の高い業務推進を行っています。

また、2023年3月期までの「中期経営計画」に基づき、重点施策として、「デジタル時代のDM強化」「先端設備充実による生産性向上」「西日本エリアの事業再構築」「3つの分野で物流を伸ばす」「2020オリンピック需要の取込み」に取り組んでおります。

この結果、当社グループの当四半期連結累計期間の売上高は、ダイレクトメール事業の受注が堅調に推移したことにより69億30百万円（前年同期比0.9%増）となりました。営業利益は、高採算案件の取り込みおよび業務効率化の取組みにより4億13百万円（同26.5%増）となりました。経常利益は、営業外収益が10百万円（同1.4%減）、営業外費用が1百万円（同21.8%減）となった結果、4億22百万円（同25.9%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用を1億17百万円としたことにより3億5百万円（同30.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分の変更を行っております。そのため、前年同期比較は、前年同期の数値を変更後の区分方法により組み替えて比較しております。変更の詳細は、「報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

①ダイレクトメール事業

既存顧客の取引窓口の拡大や新規受注を促進した結果、引き続き通販、印刷、金融・保険などの販促DMの取扱いが伸びたことにより売上高は60億47百万円（同4.7%増）、セグメント利益は5億17百万円（同14.7%増）となりました。

②物流事業

物流サービスの新規受注に注力したものの、一部の大型案件の剥離により売上高は5億28百万円（同19.8%減）となりました。一方、セグメント利益は労務費の抑制により4百万円（前年同期セグメント損失29千円）となりました。

③セールスプロモーション事業

各種販促支援および企画制作業務に注力しております。一部の既存販促支援業務の開始が早まった結果、売上高は1億86百万円（同17.1%増）となり、これによる業務部門の稼働率向上でセグメント利益は52百万円（同200.2%増）となりました。

④イベント事業

販売促進・スポーツイベントなどの運営・警備業務に注力したものの、前年第1四半期に売上計上していた大型見本市や大型花火イベントが今夏にずれ込んだことにより売上高は1億41百万円（同44.2%減）、セグメント利益は687千円（同93.0%減）となりました。

⑤賃貸事業

千代田小川町クロスタビル（東京都千代田区）等に加えて、旧大阪支社（大阪府大阪市旭区）を新たに賃貸としたことにより売上高は26百万円（同37.0%増）、セグメント利益は3百万円（同6.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の状況

当四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて主に仕掛品が2億88百万円増加しましたが、現金及び預金が4億23百万円、売上債権が2億21百万円それぞれ減少したことにより、全体として74億21百万円（前連結会計年度末比3億66百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて主に投資有価証券が41百万円減少しましたが、有形固定資産、無形固定資産および投資不動産が13百万円、繰延税金資産が49百万円それぞれ増加したことにより、全体として89億9百万円（同19百万円増）となりました。

その結果、資産合計では、163億30百万円（同3億47百万円減）となりました。

②負債の状況

当四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて主に仕入債務が1億33百万円増加しましたが、その他の流動負債が3億71百万円、未払法人税等が1億50百万円、賞与引当金が97百万円それぞれ減少したことにより、全体として36億60百万円（同4億80百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて主に長期リース債務が24百万円増加しましたが、長期借入金金が33百万円、その他の固定負債が10百万円それぞれ減少したことにより、全体として10億24百万円（同19百万円減）となりました。

その結果、負債合計では、46億85百万円（同4億99百万円減）となりました。

③純資産の状況

当四半期連結会計期間末の純資産は、主に利益剰余金では親会社株主に帰属する四半期純利益3億5百万円の計上と配当1億22百万円を支払ったことにより、差し引きで前連結会計年度末に比べて1億82百万円の増加となりました。そのほか、その他有価証券評価差額金が29百万円（税効果分は除く）減少したことにより、全体として116億45百万円（同1億52百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、2019年5月9日付当社「2019年3月期決算短信」にて発表しました2020年3月期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては本日別途開示いたします「2020年3月期第2四半期および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,624,803	2,201,479
受取手形及び売掛金	2,873,687	2,418,041
電子記録債権	958,091	1,191,973
仕掛品	979,157	1,267,734
立替郵送料	217,797	180,139
その他	138,726	166,247
貸倒引当金	△4,130	△4,177
流動資産合計	7,788,132	7,421,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,107,982	2,081,900
機械装置及び運搬具（純額）	418,969	457,876
土地	2,491,340	2,491,340
リース資産（純額）	195,533	187,029
その他（純額）	133,996	122,222
有形固定資産合計	5,347,822	5,340,369
無形固定資産		
無形固定資産	210,195	237,088
投資その他の資産		
投資有価証券	553,271	511,442
投資不動産（純額）	2,233,915	2,228,247
繰延税金資産	60,675	109,778
その他	484,034	482,551
投資その他の資産合計	3,331,897	3,332,020
固定資産合計	8,889,915	8,909,478
資産合計	16,678,047	16,330,916

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,091,221	2,224,989
1年内返済予定の長期借入金	134,000	134,000
リース債務	37,072	43,513
未払法人税等	324,034	173,775
賞与引当金	218,093	120,114
その他	1,336,566	964,582
流動負債合計	4,140,987	3,660,974
固定負債		
長期借入金	368,500	335,000
リース債務	174,383	199,090
繰延税金負債	14,040	10,714
再評価に係る繰延税金負債	18,327	18,327
役員退職慰労引当金	67,470	69,120
退職給付に係る負債	213,672	214,608
その他	188,159	177,809
固定負債合計	1,044,554	1,024,670
負債合計	5,185,541	4,685,645
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,601	1,092,601
資本剰余金	1,468,215	1,468,215
利益剰余金	10,171,150	10,354,100
自己株式	△582,954	△582,954
株主資本合計	12,149,012	12,331,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,326	156,307
土地再評価差額金	△814,388	△814,388
退職給付に係る調整累計額	△27,444	△28,610
その他の包括利益累計額合計	△656,506	△686,691
純資産合計	11,492,506	11,645,270
負債純資産合計	16,678,047	16,330,916

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	6,870,046	6,930,845
売上原価	6,215,845	6,170,028
売上総利益	654,201	760,816
販売費及び一般管理費	327,373	347,294
営業利益	326,827	413,522
営業外収益		
受取利息	26	—
受取配当金	6,160	6,805
物品売却益	2,614	1,298
その他	1,525	2,077
営業外収益合計	10,327	10,181
営業外費用		
支払利息	1,539	1,202
その他	0	1
営業外費用合計	1,540	1,204
経常利益	335,614	422,499
特別利益		
固定資産売却益	119	—
特別利益合計	119	—
特別損失		
固定資産除却損	—	61
特別損失合計	—	61
税金等調整前四半期純利益	335,734	422,438
法人税、住民税及び事業税	148,742	156,308
法人税等調整額	△47,360	△39,103
法人税等合計	101,382	117,204
四半期純利益	234,352	305,233
親会社株主に帰属する四半期純利益	234,352	305,233

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	234,352	305,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,850	△29,018
退職給付に係る調整額	△191	△1,166
その他の包括利益合計	△3,042	△30,185
四半期包括利益	231,310	275,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	231,310	275,048
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイレクト メール事業	物流事業	セールス プロモーション 事業	イベント 事業	賃貸事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,777,567	659,629	159,359	253,141	19,214	6,868,913	1,133	6,870,046
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	24,832	—	—	30	24,862	108	24,971
計	5,777,567	684,462	159,359	253,141	19,244	6,893,775	1,242	6,895,017
セグメント利益又は損 失(△)	451,297	△29	17,330	9,785	3,716	482,101	1,069	483,170

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	482,101
「その他」の区分の利益	1,069
セグメント間取引消去	△895
全社費用(注)	△155,446
四半期連結損益計算書の営業利益	326,827

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイレクト メール事業	物流事業	セールス プロモーシ ョン事業	イベント 事業	賃貸事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	6,047,022	528,757	186,635	141,175	26,325	6,929,915	929	6,930,845
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	23,275	—	—	30	23,305	169	23,474
計	6,047,022	552,032	186,635	141,175	26,355	6,953,220	1,099	6,954,320
セグメント利益	517,555	4,132	52,027	687	3,963	578,365	906	579,272

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	578,365
「その他」の区分の利益	906
セグメント間取引消去	△657
全社費用（注）	△165,092
四半期連結損益計算書の営業利益	413,522

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から、社内システム変更による管理体制の見直しにより、従来「ダイレクトメール事業」に含まれていた「物流事業」について、新たに報告セグメントとして区分記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。